

資 料

わが国におけるサビカクムネヒラタムシ類の種類と分布

昭和43～44年度全国統一指定課題 国内における貯穀害虫相の総合調査

尊 田 望 之(編)

横浜植物防疫所調査課

昭和43年度から44年度にかけて全国統一指定課題「国内における貯穀害虫相の総合調査」を実施し、1,428枚の野帳が集められた。このうち、サビカクムネヒラタムシ類 *Cryptolestes* spp. についての集計および分析を終了したのでここに報告する。

第1表 世界で貯蔵農産物から発見されている *Cryptolestes* 属の種と分布 (Lefkovitch, 1962 ほかによる)

種	分 布
<i>C. capensis</i> (WALTL) ホソカクムネヒラタムシ	ヨーロッパ, 南アフリカ
<i>C. ferrugineus</i> (STEPHENS) サビカクムネヒラタムシ	世界共通種
<i>C. turcicus</i> (GROUVELLE)	オーストラリアとニュー

トルコカクムネヒラタムシ	ジランドを除く世界の温暖地
<i>C. pusilloides</i> (STEEL & HOWE) ハウカクムネヒラタムシ	南アフリカ, 南アメリカ およびオーストラリア
<i>C. pusillus</i> (SCHÖNHERR) カクムネヒラタムシ	熱帯共通種
<i>C. ugandae</i> STEEL & HOWE ウガンダカクムネヒラタムシ (新称)	中央アフリカ

わが国におけるサビカクムネヒラタムシ類の種類と分布について調査したが、大要次のようにまとめることができよう。

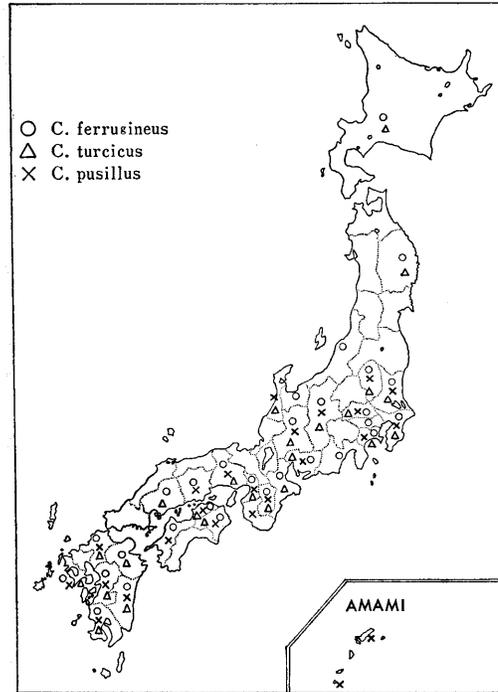
1. わが国には、貯蔵農産物に発見されるサビカクム

第1表 施設・寄主別発見件数 (fer.=ferrugineus, pus.=pusillus, tur.=turcicus)

施設	横 浜				名 古 屋				神 戸				門 司			
	調査 件数	種 別			調査 件数	種 別			調査 件数	種 別			調査 件数	種 別		
		fer.	pus.	tur.												
港	20	1	0	0	76	9	1	4	2	0	0	0	—	—	—	—
内	15	0	0	0	60	1	0	1	—	—	—	—	—	—	—	—
製	105	8	5	11	83	2	5	10	46	9	9	18	29	6	6	5
製	46	1	3	5	42	10	1	3	32	2	10	4	105	7	14	4
飼	153	14	2	4	95	4	3	4	269	21	15	12	42	4	3	1
精	8	0	0	0	43	1	0	1	—	—	—	—	21	0	4	0
そ の 他	20	2	0	1	56	2	1	0	2	0	0	0	58	4	1	0
計	367	26	10	21	455	29	11	23	351	32	34	34	255	21	28	10
寄 主																
米	27	0	0	0	58	1	1	1	—	—	—	—	40	1	2	0
小 麦	34	5	0	1	69	4	3	8	37	8	7	16	27	5	6	3
小 麦 粉	1	0	0	0	18	0	1	1	17	1	1	4	5	1	0	1
トウモロコシ	34	6	0	1	67	2	1	6	26	1	2	1	—	—	—	—
フ ス マ	12	3	0	0	14	1	1	0	30	7	5	0	26	7	2	1
裸 麦・大 麦	23	0	1	3	84	14	4	5	11	0	3	0	78	5	10	3
そ の 他	236	12	9	16	145	7	0	2	230	15	16	13	79	2	8	2
計	367	26	10	21	455	29	11	23	351	32	34	34	255	21	28	10

第2表 地域別発見件数

地 域	調査件数	種 別			
		fer.	pus.	tur.	
横 浜	北 道	43	2	0	2
	岩 手	7	1	0	3
	宮 城	12	0	0	0
	新 潟	18	2	0	0
	福 島	6	0	0	0
	群 馬	8	0	0	0
	栃 木	19	2	1	1
	茨 城	21	1	2	3
	埼 玉	40	1	5	9
	千 葉	12	0	0	0
	東 京	46	10	1	2
	神 奈 川	11	2	0	0
	計	124	5	1	1
	名 古 屋	愛 知	96	3	6
三 岐		103	18	0	12
静 岡		21	1	2	4
長 岡		63	1	0	0
石 川		55	5	1	3
福 富		76	0	2	3
計		18	0	0	0
神 戸	大 阪	34	9	2	13
	兵 庫	24	4	7	6
	京 都	6	3	2	3
	滋 賀	2	0	0	0
	和 歌 山	1	0	0	0
	岡 山	2	0	2	0
	広 島	13	5	1	0
	島 根	41	3	0	6
	鳥 取	19	0	0	0
	山 口	24	—	—	—
	徳 島	4	—	—	—
	愛 媛	23	1	5	0
	香 川	9	1	2	1
計	149	6	13	5	
門 司	福 岡	49	4	2	3
	大 分	15	1	0	1
	長 崎	53	4	6	2
	佐 賀	14	0	0	0
	熊 本	45	3	10	1
	宮 崎	37	6	7	2
	鹿 児 島	20	3	1	1
	奄 美	22	0	2	0
計	255	21	28	10	



第1図 わが国におけるサビカクムネヒラタムシ類3種の分布

考察：

サビカクムネヒラタムシ類3種がこのように分布を異にしているのは、それぞれ種特異性があることを示すものである。まず第一に、温度適応性が考えられる。

Solomon および Adamson (1955) は、英国においてサビカクムネヒラタムシ類4種類の自然状態での越冬能力を調査し、*ferrugineus* および *turcicus* の2種が耐寒性が強かった旨述べている。特に *ferrugineus* は暖房していない倉庫で普通に見つかる種であり、最も耐寒性が強いという。Currie (1967) はサビカクムネヒラタムシ類3種の耐寒性を次のように示している。

ferrugineus > *turcicus* > *pusillus*
強 中 弱

わが国で、*pusillus* が南西に偏って分布しているのは、本虫の耐寒性が主に関与しているものである。*pusillus* は分布からみても世界の熱帯-亜熱帯に広く分布しており、高温・多湿という条件によく適応している。わが国の夏の状態がこの高温多湿である。

今回の調査では福島-新潟を結ぶ線から北では *pusillus* が発見されていないが、この事実は *pusillus* が定着しえない地域を大体示すものであろう。この線以南でも勿論冷山岳地帯には定着しえない筈である。

施設別にみれば *turcicus* は製粉工場に多い傾向が認められた。*turcicus* の幼虫は *ferrugineus* の幼虫に比

ネヒラタムシ類として、*C. ferrugineus*, *C. pusillus*, および *C. turcicus* の3種が分布している。

2. *C. pusillus* は明らかに南西に偏って分布している。この種は九州では夏季、貯穀および穀類加工品で最も普通に発見される。

3. *C. ferrugineus* および *C. turcicus* は全国に分布していることが確かめられた。

べて振動する環境に耐えるという研究もあり、(Milnes, R.H. 未発表) その点では *turcicus* は製粉工場に適応した種といえることができる。製粉工場で機械工程の中で発見されるのは例外なく本種であった。

(付)トルコカクムネヒラタムシの学名について

1876年, Grouvelle はトルコからの乾果を害していたヒラタムシの1種を記載し, *Laemophloeus turcicus* と命名した。この学名はその後ずっと使われてきた。しかし, 1964年になって Lefkovitch の研究により *L. turcicus* は1874年 Reitter がわが国から記載した *L. immundus* のシノニムということが判り, したがってわが国が本種の Type Locality ということになった。本来ならば学名は *C. immundus* の方を使用すべきであるが, 動物命名規約の特例により *C. turcicus* が引き続き使われることになった。また, 本種は戦後わが国に定着したのではないかという説もあったが, 上のいきさつにより, 戦前からわが国に分布していたことになる。

引用文献

- SOLOMON, M.E. and B.E. ADAMSON (1955) The power of survival of storage and domestic pests under winter conditions in Britain. Bull. ent. Res., **46**: 311-355.
- CURRIE, J.E. (1967) Some effects of temperature and humidity on the rates development, mortality and oviposition of *Cryptolestes pusillus* (SCHÖNHERR) (Coleoptera, Cucujidae). J. stored Prod. Res., **3**: 97-108.
- LEFKOVITCH, L.P. (1964) *Laemophloeus immundus* Reitter, 1874 (Insecta: Coleoptera): proposed suppression under the plenary powers., Z.N.(S.) 1649. Bull. zool. Nomencl., **21**: 375-376.